

2019年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

子育て支援員研修及び放課後児童支援員認定資格研修における e-ラーニング活用等による受講促進等に関する調査研究

<実施主体名>

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

質の高い教育・保育並びに地域子ども・子育て支援事業を提供するために、必要となる人材確保や従事者の資質向上を図るため、平成27年度より子ども・子育て支援体制整備総合推進事業において都道府県等において子育て支援員研修及び放課後児童支援員認定資格研修が実施されている。

本事業では、ヒアリング調査とアンケート調査を通じて、子育て支援員研修及び放課後児童支援員認定資格研修について、e-ラーニングで実施可能と考えられる科目や修了評価のあり方や、小規模自治体等における研修の広域開催の促進策や、研修修了者による研修の振り返り、自己評価を行うための方策及び職場への従事に結びつけるための方策等を整理し、映像等を盛り込んだサンプル版（2科目分）を作成した。また、有識者から構成される検討委員会及びWG（ワーキンググループ）を設置し、調査研究全般にわたって助言を得た。

ヒアリング調査は、小規模自治体等における研修の広域開催を実施している2自治体を対象に、電話によるヒアリングを実施した。子育て支援員研修に関する自治体向けアンケート調査は、全都道府県、市町村（特別区を含む）を対象に、郵送配布・郵送回収の方法で実施、回収数は1,064件、回収率は59.5%であった。また、放課後児童支援員認定資格研修に関する都道府県向けアンケート調査では、全都道府県を対象に、郵送配布・郵送回収の方法で実施、回収数は43件、回収率は91.4%であった。

先行研究やヒアリング調査、アンケート調査の分析結果及び検討委員会での意見を踏まえ、子育て支援員研修及び放課後児童支援員認定資格研修におけるe-ラーニングの活用の実現につなげるため、映像等を盛り込んだサンプル版を作成した。子育て支援員研修で作成した科目は、「保育者の職業倫理と配慮事項」とした。科目の選定理由は、演習のある科目であること、当科目は講師が少ない状況にあること、である。放課後児童支援員認定資格研修で作成した科目は、「放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守」とした。科目の選定理由は、当科目が研修科目に組み込まれたのは、法令の遵守について放課後児童支援員自身が熟知している必要があるという点と、事業の倫理法令順守について共通項をつくるのに認定資格研修を活用するということ、当科目をきちんと教えられる講師が少ない状況にあること、である。作成したサンプル版を活用することで、次年度以降にe-ラーニングを活用した子育て支援員研修及び放課後児童支援員認定資格研修の効果を検証することが期待される。